

増田俊男の『愉快な暴言』2025年10月15日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

対米投資 82 兆円は投資ではなく身代金！

赤沢大臣は 10 回ものアメリカ訪問の末、自動車並びに部品の関税率を 15%に下げると同時にコメの自由化を拒むことに成功したが、その見返りに 5,500 億ドル（約 82 兆円）の対米投資を約束した。

しかし投資合意の中身を見れば分かる通り、投資に対して日本は提案された案件に関して合意するだけで拒否権が無く、アメリカの言いなりである。

82 兆円は、いわば自動車とコメの為の身代金である。

石破総理もマスコミも「赤沢、よくやった」であるが、誰も本当のことを伝えようとしない。

こうした対米隷属の責任の一端はマスコミにもある。

「アメリカにノーと言える日本」と言った今は亡きソニー会長盛田昭夫と石原慎太郎が草葉の陰で泣いている。

82 兆円の対米投資の真実を知っている高市は場合によっては日米関税合意の再検討も辞さない構えである。

来る日米首脳会談で高市はトランプに関税合意再検討要求を口にすることが出来るかどうか見ものである。

もし高市が再検討を要求すれば、トランプは直ぐに「関税を 15%から 100%に引き上げる」と言うだろう。

そこで高市が「それなら日本は米国債を売ることになりましたが、..」と言えどトランプは烈火のごとく怒鳴りまくるだろう。

いかなる交渉でも怒鳴りまくるのは弱いほうで強いほうではない。

本当に日本が保有する米国債の一部を売れば、アメリカの命であるドルは崩壊に追い込まれること必至である。

トランプが「キチガイに刃物」なら高市も「キチガイに刃物」になればいい。

高市はトランプを激怒に追い込むことで、世界で初めてトランプを制した女性首相になり、日本の存在感は世界に轟くだろう。

自動車産業を人質にするどころか、日本を人質にする大勝負が高市に出来るか、見物である。

高市はサッチャー（「鉄の女」と言われた英国首相）になりたがっているのだから、日本に命を懸けてもらいたいものだ。

※増田俊男の小冊子 Vol.152 大好評発売中！お申込みは、<https://www.musrjec.com/>

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）

★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtube の視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U. S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。